

石クリ通信

6月号

令和へ

看護師

太田 小百合

昭和から平成に移行した時、私は新人一年目でした。大した感動もなく年号が変わり、仕事や家事に追われ、忙しい日々の繰り返し、あっという間に三十一歳で終わってしまいました。特に思い入れもなく過ごした平成でしたが、令和に変わった途端に懐かしさを覚え、人生の中心部分だったんだと妙に愛着を持つようになりまして。年号は変わりましたが、あと少し平成の思い出にひたって過ごそうと思います。令和に変わった瞬間に私の頭の中に浮かんだ歌のフレーズがあります。

わずかばかりの運の悪さを 恨んだりして

それでも過去達は 優しく睫毛に翳う

思い通りにならない 夢を失くしたりして

それでも未来達は 人待ち顔して微笑む

いい歌ですね。昭和の歌ですけど(笑)

夢のオリンピック

看護師

澤田 彰子

東京オリンピックまであと420日となりチケットの申し込みも終了しました。皆さんは申し込みましたか？観戦できると楽しみにしていましたが、やはり人気の種目のチケットは高いですね。到底一般庶民には手が出ません。でも、我が家は運良く12歳未満の子がいるので「みんなで応援チケット」で申し込みをしました。多少見づらい席かもしれませんが臨場感を味わえたらいいと思います。抽選の結果は今日20日です。絶対見に行くぞー東京オリンピック！

小さな庭で

看護助手

柴田 さち子

狭い庭先に絹さやの種をまき、昨年はまあまあの収穫でした。今年は一ヶ月早くまいたら、倍以上の量の花が咲きました。五月の連休に子供達の家族、友人と十人以上集まりバーベキューをしました。楽しく一日が過ぎ、絹さやもそれぞれの家に収穫されて行きました。みんなに食べてもらうのが一番、家庭菜園で来年もまた大量に収穫できるようにがんばります。



ドレス・コード

院長 石川 悟

先日テレビの「チコちゃんに叱られる」で、医者はなぜ白衣を着るか、というのをやっていました。白衣を着るようになった経緯を知らなくても、診療には支障はありませんが、白衣が医者のシンボルであるのは否定できません。医学部に入ったばかりの頃、先輩達が白衣を着て歩いているのを、カッコいいな、と眺めていたのを思い出します。

病院勤務をしている頃、若いドクターが、ジーパンにTシャツ、裸足にサンダルの上に白衣を着て診察しようとして、看護師から報告を受けました。「もう少しまともな格好をするように。」と言うと「白衣も着ているし、どんな服装かは個人の自由でしよう。」と反論されました。高校時代に制服廃止を叫んだ経験もある身としては、「俺の言うことを聞け。」で、済ますことはできません。ハタと考えると「医療も一種のサービス業だ。君が自分の好みの格好をして、患者が不愉快な思いをしたら、医療者としては失格だ。プライベートな時はどんな服装でもいいが、診療中の格好は自分勝手ではダメ。」と論じて事なきを得ました。

高級レストランやゴルフ場などではドレス・コードがあり、あまりラフな格好で行くと、注意されたり、ひどい時は入場を拒否されたりする場合もあります。そういう所にはあまり縁がない、と思われる方も多いでしょうが、ドレス・コードはヨーロッパやイギリスではホテルなどに普通にあります。たまには贅沢して、高級感のある雰囲気を楽しむのでもいいかもしれません。

京都

事務長 石川 都

今年のGW前半の、まさに平成から令和へ変わろうとする時、院長と仲間たち（アマデイス）のコンサートで、私たちは京都にいた。京都は、明治維新までの歴代天皇の住まいの京都御所を中心に、碁盤の目のように整然と区画された街であり、大通りも東西に三条・四条・、南北には烏丸・御池などと名づけられ、また北へ上り坂なので住所もそのまま「上る」「下る」で、外来者にも実に分かりやすい。GW中は京都御所が公開されていたので、初めて入ってみた。天気もよく暖かな日で、苑内の見上げるばかりの大樹やもみじの新緑が青空に映えて美しかった。ちょうど今は、秋の新天皇の即位礼正殿の儀で使われる高御座が東京に運ばれていて、いつもある紫宸殿にはなかったことが、まさに令和元年を象徴している。京都は、おもしろい奈良に比べ、繊細で洒落な公家文化のイメージがあるが、今や街中は外国人であふれ、東京の繁華街と変わらなかつた。ただ大通りから一歩入ると、昔ながらの町家が軒を連ね、コンビニまで町家風で、やはり京都であった。地名や寺社名も、内裏、右京左京、醍醐、本能寺など、関東の私が教科書でしか知らない歴史が今も生きていた。今回も短い滞在ではあったが、昔から大好きな太秦広隆寺の弥勒菩薩には、何十年ぶりにしっかりと再会し、その姿と微笑を再び目に焼きつけて帰って来た。

十連休中の旅行

事務 田所 弓佳

今年的大型連休は京都・大阪・神戸に旅行に行きました。ほぼ京都で二割観光八割カワエ巡りの食の旅になってしまいました。旅行中は電車や徒歩が主な移動手段だったので、電車で乗っけていってもどこを歩いても身動きが取りにくいほど観光客の方で賑わっていました。しかし今回の旅行は連休中で多くの観光客の方が訪ねると予想していたので、予約できるお店は予約をしたり開店時間より少し早めに入店できるように計画を立てていたのが混雑する前に入店できました。そのおかげで色々の場所に行けたのでよかったです。

上杉VS武田

事務 上野 亜希

ゴールデンウィーク中に山形県で行われた、上杉と武田の長きにわたる戦で有名な川中島の合戦を再現した催しを見に行ってきました。両陣の出陣の儀式から始まり、火縄銃や弓矢を用いたの実演や大勢の兵達の槍での戦いなど、なかなか見応えのある催しでした。今回は武田陣側からの観戦だったので、次回は上杉陣側から観戦する予定です。



荷物掛け

通信・ウェブ担当 石川 香

受付カウンターの下に、荷物掛けのフックが設置されたのはご存知でしょうか？お会計時の荷物の置き場はいつも問題になっていて、わざわざ左端の机付き椅子に荷物を置く方を見受けられます。ですが、車椅子の方が多いために、カウンター下に物置台を置くことは出来ません。カウンターに引っ掛けられる何かと、試行錯誤の結果今の形になりました。あまり使用されていないようで残念なのですが、少しでも役にたてば良いです。そしてもう一つの課題は、車椅子用のトイレ使用時に洗面台に頭をぶつける方がいるとのこと。以前にスポンジのようなものを貼り付けたのですが、一日で落ちてしまいました。頭上注意の張り紙はしたものの、解決策がありません。何か良い方法はないのでしょうか？